

2022 年度 傾斜的研究費（全学分） 研究報告書

【研究代表者所属】：東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科産業技術専攻

【研究代表者氏名】：松尾 徳朗

【研究代表者氏名フリガナ】：マツオ トクロウ

【研究代表者職】：教授

【国内研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科、細田貴明、准教授
- ・東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科、丸山博之、特任助教

【国外研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・なし

【研究課題名】：産業技術分野の高度専門職業人を育成する高等教育機関版 IR メソドロジーの開発

【研究実績の概要（800～1000 字程度で記入。図、グラフ等の使用も可。）】

・東京都立産業技術大学院大学の高度専門職人材教育研究センター担当の IR 推進室は、我が国の専門職大学院大学としては、最も早期に設置された IR 部門である。従来 IR で対象とされる教育研究機関が持つ条件、状況、および環境が大きく異なるため、新たに「高度専門職業人を育成するための高等教育機関のための IR」について、その方法論の提供が求められる。そこで、本研究では、【研究目的 1】本学の特徴を加味した IR メソドロジーの試作のための要素抽出、【研究目的 2】海外の技能系教育機関における IR スキームの比較研究と特徴づけ、および【研究目的 3】産業技術分野の高度専門職業人を育成する高等教育機関版 IR 方法論の開発と評価、の 3 つの目的を設定した。具体的に、本学の性質上、多様な学生が在籍しているため、データの範囲が広く、データの欠測が教育アンケートの処理と結果に与える影響について分析した。また、社会人対象とした授業において、オンライン講義環境における新たな学習動機づけモデルの構築を行い、データ収集とリンクさせることで専門職業人育成機関 IR を機能させる枠組みを構築した。さらに、学生のバックグラウンドが一樣ではないので、従業員意識調査に基づく従業員エンゲージメントに影響を与える要因について、エンロールマネジメントと関連した枠組みを構築した。以上の研究成果をもとに、国際会議において論文を発表するとともに、本学と協定を締結している Bina Nusantara University（インドネシア）において、成果を元に講演を実施した。同校の大学院は、本学と類似した学生層であり、本研究において得られた知見を海外に対しても発信できた。今後、本学が産業技術分野の専門職大学院 IR の標準化を行い、本研究により、我が国の専門職人材教育機関における IR のイニシアチブの確立するための基盤を構築できるように研究を継続する。

（※研究の全体の目的・意義に照らし、当該年度の研究で、どのように進捗・達成されたかも含め記載すること。）

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

・ Hiroyuki Maruyama, Takaaki Hosoda and Tokuro Matsuo. (July 2022). Impact of Missing Data on the Processing of Educational Questionnaires and the Reported Results. 12th International Congress on Advanced Applied Informatics.

- ・ Hiroyuki Furuya, Hiroyuki Maruyama, Tokuro Matsuo and Takaaki Hosoda. (July 2022). Reconsideration of the recursive processing model in the problem formulation and solving processes. 12th International Congress on Advanced Applied Informatics.
- ・ Takaaki Hosoda, Hiroyuki Maruyama and Tokuro Matsuo. (July 2022). Construction of a New Learning Motivation Model in an Online Lecture Environment. 12th International Congress on Advanced Applied Informatics.
- ・ Morihiko Ikemizu, Hiroyuki Maruyama, Takaaki Hosoda, Tokuro Matsuo and Teruhisa Hochin. (July 2022). Factors Affecting Employee Engagement Based on an Employee Attitude Survey in Japan. 12th International Congress on Advanced Applied Informatics.
- ・ Hiroyuki Maruyama, Takaaki Hosoda and Tokuro Matsuo. (December 2022). Class Assignment Problem Considering Time Relationship. 13th International Congress on Advanced Applied Informatics.

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

- ・ Ikemizu, M., Maruyama, H., Hosoda, T., & Matsuo, T. (2023). Research on the Relationship Between Internal Company Events and Work Performance. IIAI Letters on Informatics and Interdisciplinary Research, 3.

【作品等】

- ・ なし

【科学研究費助成事業への応募状況、採択状況】

- ・ 科研費基盤研究 B、挑戦的研究に応募

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- ・ JST CREST（受託研究費）受入中。

【受賞等】

- ・ なし

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

- ・ 招待講演 Wake up Your Real Talent Escaping from Routine, DCS Bina Nusantara University, March 4, 2023.
- ・ 基調講演 Experiencing Your Successful Research Life, Symposium of Inaugurasi Mahasiswa Baru Program, Bina Nusantara University, March 4, 2023.
- ・ 招待レクチャー Investigation Methods in Computer Science and IT To show the best result of research -, Bina Nusantara University, October 14, Indonesia

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称、発明者、権利者、工業所有権の種類・番号、出願年月日、取得年月日)

- ・ なし

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名、所属、金額 (円))

- ・ 松尾徳朗・細田貴明・丸山博之、東京都立産業技術大学院大学、1,480,000 円